



瑞穂の里

角田市立北郷小学校
学校だより
第2号（文責：校長）
令和4年4月26日

【学校教育目標】
心豊かで
創造性に富み
しなやかに生きる
子供の育成

【めざす児童像】
き…基礎・基本となる学習に主体的に取り組む子供
た…たくましく健やかな心身を持つ子供
ご…ゴール（目標）や夢に向かって挑戦する子供
う…美しいもの（心・物・環境）に感動できる子供

981-1524
角田市岡字阿弥陀入11-2

〈学校ホームページ〉
<http://www.kakuda-c.ed.jp/kitagou-es>

挨拶は「いつでも」「どこでも」「誰にでも」「自分から」

校長 大友 幹雄

新学期がスタートしてから3週間が過ぎました。その間の学校は、実に様々な行事等（ミニ防災訓練、身体計測、給食開始、交通安全教室、標準学力調査、視力・聴力検査、眼科検診、委員会活動、朝会、全国学力・学習状況調査、1年生を迎える会、代表委員会、たてわり班会議）が続き、慌ただしい毎日でした。

しかしながら、子供たちは一つ一つの活動にしっかりと取り組んでいました。視力・聴力検査の会場は保健室です。整列の際は校長室まで列が伸びることになります。校長室から廊下を見ると、頭の影は見えるのですが、一言も声が聞こえてきません。当たり前のごとくですが、なかなかできることではありません。また、1年生のお世話や委員会活動をリードする6年生の動きからも目が離せません。少しずつ少しずつ最高学年の意識が膨らんできているようです。

お世話される側の1年生も学校生活に次第に慣れ、学習に運動に一生懸命取り組んでいます。先日、給食の様子を見に行きました。マスク着用が基本の学校の中で素顔を見ることのできる唯一ともいえる機会です。幼稚園や保育所、保育園でも習慣付いていたのだと思いますが、黙食がしっかりとできていました。そして、どの子供もおいしそうに食べている姿が印象的でした。

さて、春の気持ちのよい朝、昇降口での「おはようございます。」という子供たちの元気な挨拶で学校の1日が始まります。本校では、今年度『全校挨拶の徹底』を重点目標に取り組んでいきます。挨拶は、コミュニケーション能力の育成の第一歩であり、挨拶を通して思いやりの心や互いを認め合い、助け合う心が育ちます。「挨拶」の「挨」は近寄る、寄り添う、くっつくという意味、「拶」はせまるという意味を持っています。つまり、「挨拶」は相手に近付いて尊敬や親愛の気持を表わす動作なのです。心を込めた挨拶ができることは、相手とコミュニケーションがとれることにもつながります。「いつでも どこでも 誰にでも 自分から」挨拶ができる子供たちを育てるために、私たち教職員が率先垂範となって実践していきます。



また、子供たちは、体験を通して周りの環境から多くのことを学んでいきます。そのモデルとしての環境となるのが身近にいる私たち大人です。ご家庭や地域の中の様々な場面での言葉掛けが、子供たちにとっての「生きた手本」となり心の成長につながっていきます。そして、子供たちにとって私たち大人が信用できる存在であることが、子供たちの安心・安全な生活につながっていきます。子供たちにとって模範となれるよう、私たち教職員は力を尽くしてまいります。

明日4月29日からゴールデンウィーク前半のお休みになります。有意義な日々が過ごせるようにと願っております。5月2日、元気な子供たちに会えるのを楽しみにしています。

5月もどうぞよろしく願いたします。



